

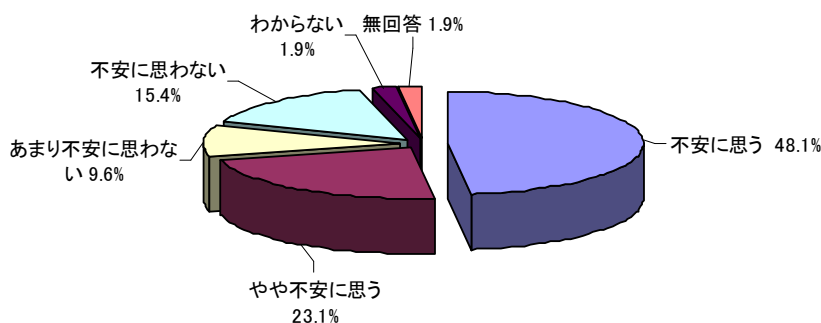
遺伝子組換え作物・食品に関するシンポジウム 参加申込時アンケート集計結果

(1) 調査方法等

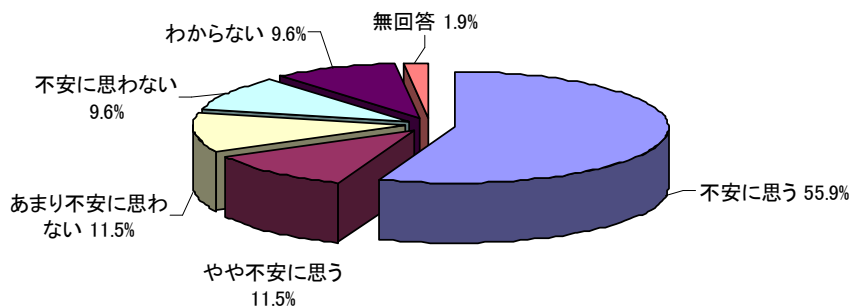
- ・ 調査方法 遺伝子組換え作物・食品に関するシンポジウムの参加者へ申込時にアンケートの協力を求めたもの
- ・ 調査時期 平成24年8月9日～9月3日
- ・ 回答数(率) 52人(100%)

(2) 調査結果

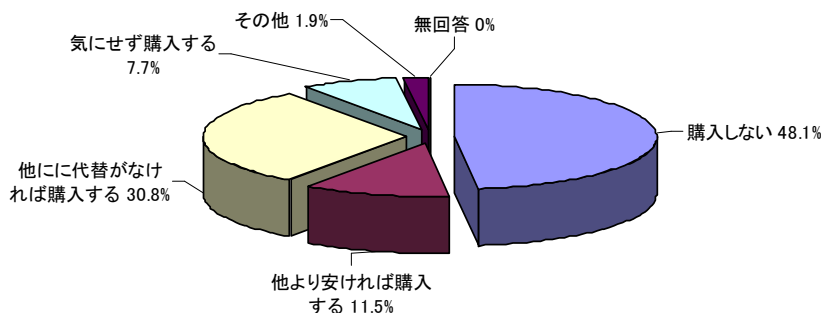
問1 あなたは、遺伝子組換え食品の安全性についてどう思いますか。



問2 あなたは、遺伝子組換え作物を栽培することによる自然や環境への影響についてどう思いますか。

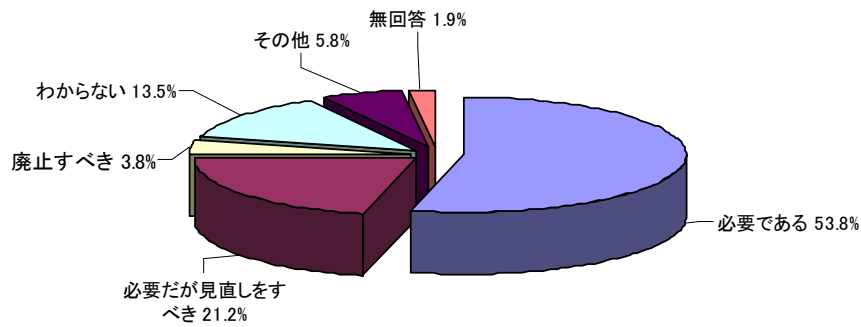


問3 あなたは、購入しようとした農産物及び加工食品に「遺伝子組換え」と表示されている場合どうしますか。



「⑤その他」の記述回答
・ 表示義務は必要なし

問4 北海道遺伝子組換え作物の栽培等による交雑等の防止に関する条例(交雑防止措置基準を含む)について、どのように考えますか。



「⑤その他」の記述回答

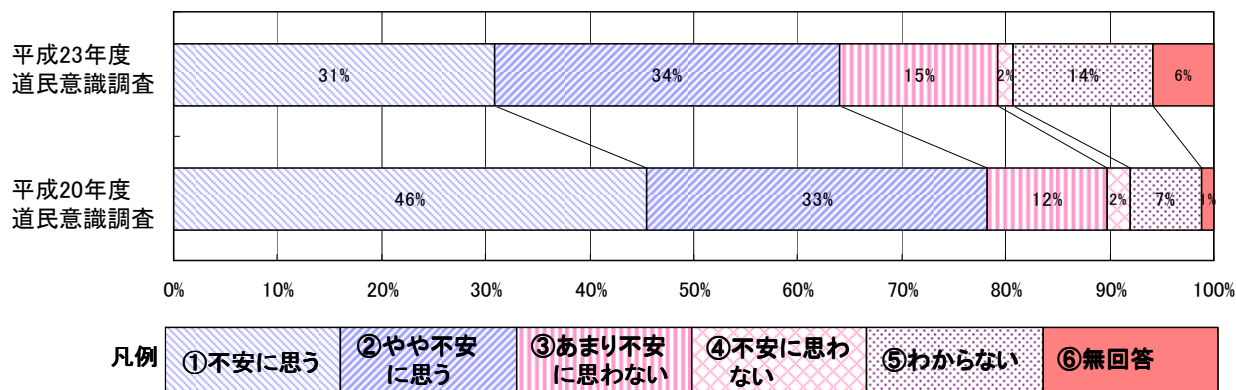
- ・ 北海道でも自生のGMセイヨウナタネや大豆が見つっています。更に厳しい条例が必要ではないですか
- ・ 研究目的の栽培を困難にしている部分を緩和すべき
- ・ 必要の是非も含めて見直しすべき

○ ご意見・ご質問等の記述回答
別紙のとおり

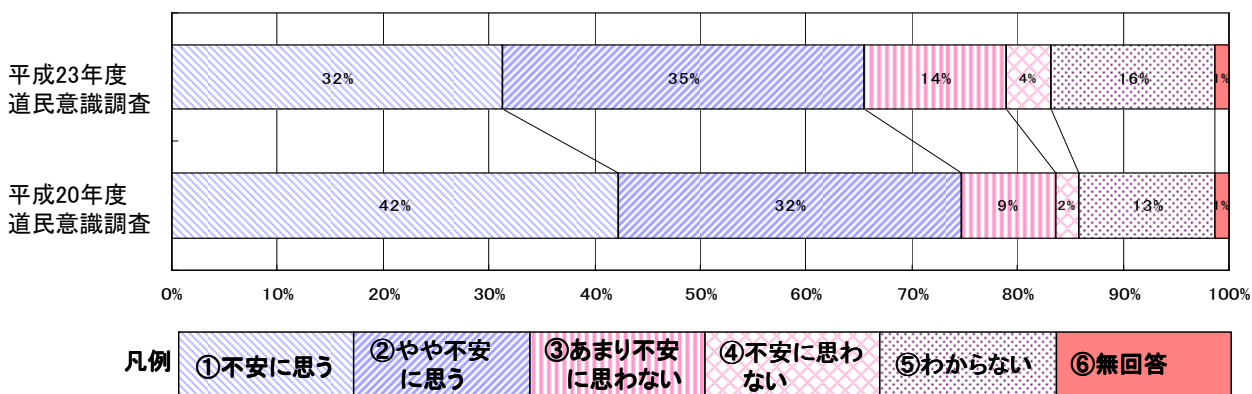
< 参考 >

道 民 意 識 調 査 結 果

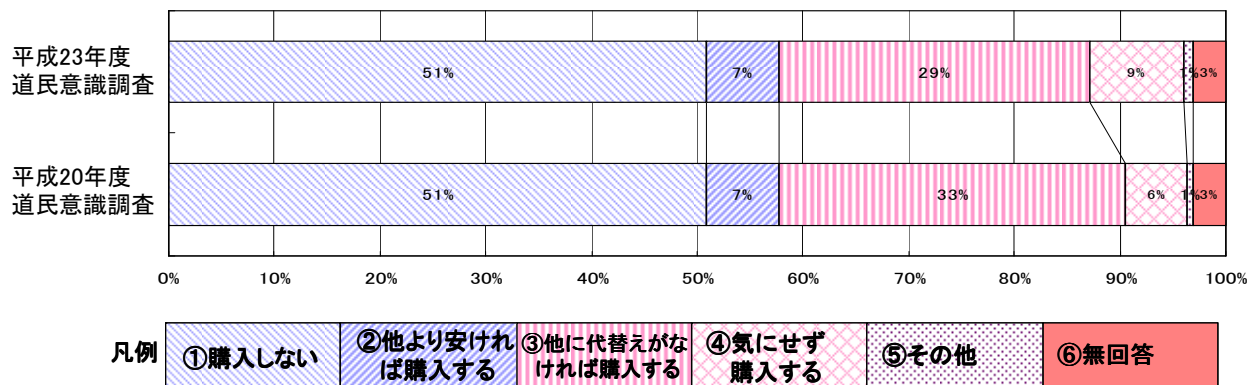
1 遺伝子組換え食品の安全性について、どのようにお考えですか



2 遺伝子組換え作物を栽培することによる自然や環境への影響について、どのようにお考えですか



3 購入しようとした農作物及び加工食品に「遺伝子組換え」と表示されている場合、どのように対応しますか



ご意見・ご質問事項の記述内容

番号	分類	意見・質問
1	栽培(影響)	今後、農業経営に対する考えとして生産コストの転換から消費者と共に食品の安全性を考えながら遺伝子組換え作物の栽培をする事によって収量の増大、病気に強い品種選定など近い将来必要とする時代が来るのではないかと。
2		遺伝子組換え技術は有用かつ将来的に必須であると考え。そのため、研究を推進、支援すべきであるが、社会情勢から生産現場への導入は時期尚早である。
3		安全性でアレルゲンとしての研究が不十分。従って表示は必要。環境への影響評価は、研究自体が十分にされていない。有益な遺伝子は多いが、自然淘汰を受けないで、突然出現した生物が生態系にどのように影響を与えるのか研究自体が非常に難しいと思われる。
4		交雑など元へ戻す事のできない未知なものには慎重であるべきは当然のこと。すでに輸入原料や加工品に使用や流通はその現状はどうなのか？実態を把握したいものです。
5		遺伝子組み換え食品はその遺伝子を操作することであるから、従来からの品種改良とは全く異なるものであり、遺伝子組み換え作物がどのように人体に影響を及ぼすかはまだ、はっきりわかってはいない。そのような、不安なものを使うべきではない。勿論子どもたちにも食べさせたくはない。すでに自生GMナタネが発見されたりなど、自然界への影響も危惧される。食糧基地北海道において、遺伝子組み換え作物はいらぬ。勿論日本にGM作物を作らない、持ち込まない条例を作って欲しい。
6	安全性	GMIに対する危険性を心配すると同時に、世界的な大企業による命の糧の独占につながる事を大変危惧しており、最新情報を得る機会として参加を希望しました。
7		遺伝子組み換え食品の安全性について、いまいち正しい情報を知らないで、遺伝子組み換え作物を継続的に食べて、人体に影響が出るのかどうか研究した結果等があるのであれば、当日、ご紹介いただければ幸いです。
8		安全性でアレルゲンとしての研究が不十分。従って表示は必要。環境への影響評価は、研究自体が十分にされていない。有益な遺伝子は多いが、自然淘汰を受けないで、突然出現した生物が生態系にどのように影響を与えるのか研究自体が非常に難しいと思われる。
9		遺伝子組み換え食品はその遺伝子を操作することであるから、従来からの品種改良とは全く異なるものであり、遺伝子組み換え作物がどのように人体に影響を及ぼすかはまだ、はっきりわかってはいない。そのような、不安なものを使うべきではない。勿論子どもたちにも食べさせたくはない。すでに自生GMナタネが発見されたりなど、自然界への影響も危惧される。食糧基地北海道において、遺伝子組み換え作物はいらぬ。勿論日本にGM作物を作らない、持ち込まない条例を作って欲しい。
10		表示義務は必要なし。
11	研究・倫理	私たちは、安心・安全な作物を食べ成長しました。それがなぜ？子どもや孫たちにも安心・安全なものを食べさせたい！遺伝子組換え作物が問題になった時から関わってきた。未だにと残念な思いです。現状をぜひ知りたい。
12		核融合と遺伝子組み換えは、人類がやるべきではないと思います。
13		安全性でアレルゲンとしての研究が不十分。従って表示は必要。環境への影響評価は、研究自体が十分にされていない。有益な遺伝子は多いが、自然淘汰を受けないで、突然出現した生物が生態系にどのように影響を与えるのか研究自体が非常に難しいと思われる。
14		遺伝子組換え技術は有用かつ将来的に必須であると考え。そのため、研究を推進、支援すべきであるが、社会情勢から生産現場への導入は時期尚早である。
15	条例(維持・強化)	遺伝子組み換え食品はその遺伝子を操作することであるから、従来からの品種改良とは全く異なるものであり、遺伝子組み換え作物がどのように人体に影響を及ぼすかはまだ、はっきりわかってはいない。そのような、不安なものを使うべきではない。勿論子どもたちにも食べさせたくはない。すでに自生GMナタネが発見されたりなど、自然界への影響も危惧される。食糧基地北海道において、遺伝子組み換え作物はいらぬ。勿論日本にGM作物を作らない、持ち込まない条例を作って欲しい。
16		生物多様性の観点からも遺伝子組み換え作物の栽培のみを規制するのではなく、輸入、持ち込みも規制すべきです。
17		北海道でも自生のGMセイヨウナタネや大豆が見つかっています。更に厳しい条例が必要ではないですか？
18		日本の食糧基地と言われている北海道は第一次産業が基幹産業です。北海道の農業を守るためにも、また全国の消費者支持の観点からもGM作物の厳しい栽培規制は必要と思います。
19		遺伝子組み換え作物の栽培を規制する条例があるので北海道の農業はクリーンなイメージで受け取られている。全国に先駆けて出来たすばらしい条例で安全・安心のためには必要と思う。(2名より)
20	(廃止・見直し)	研究目的の栽培を困難にしている部分を緩和すべき。
21		必要の是非も含めて見直しすべき。
22		組み換えの種子のみに適用をすべきで、一般ほ場には必要はない。
23	施策	農産物や加工食品に遺伝子組換えと表示されているものは50%以上の道民が購入しないとアンケートにあるが、課題として、もっと道民の目線に合った食の安全・安心の施策を進めて、不安・心配を日常生活に持ち込まない様に進めていくべきである。
24		北海道の食品は安全、安心をうりに！！
25		北海道の農産物のクリーンさを大事にし、将来に影響をあたえない取り組みを大事にすべきである。
26	その他	私たちは、安心・安全な作物を食べ成長しました。それがなぜ？子どもや孫たちにも安心・安全なものを食べさせたい！遺伝子組換え作物が問題になった時から関わってきた。未だにと残念な思いです。現状をぜひ知りたい。
27		自分では確かに毎回確認して購入しているのですが、遺伝子組換えについて正確に理解できていないのでこの機会に勉強をしたい。
28		遺伝子組換えの専門家が推進派の田部井さんのみということで、このシンポジウムは推進する方向で行われます。バランスを取るなら反対の立場の専門家に話をしてもらわなければなりません。はじめから推進の立場のシンポジウムになっています。